

2年SG
コース

京都大学思修館オンライン研修



6月15日（水）に京都大学思修館の皆さんと2年SGコース生がオンラインで研修を行いました。大学院生の皆さんは研究者としても、グローバルリーダーとしても、目指すべきロールモデルとなるはずですが、研究に関して助言をいただくことはもちろん、いろいろな観点から自分たちのテーマについて学ぶ機会を得ました。

感想：思修館の方たちの探究手法はとても深く、尊敬の念を持ってお話を聞きました。また、当然ですが、私たちが到底思い付かないような視点からのアプローチばかりで、とても刺激的でした。最終的には、多方面から自分たちの探究について助言をいただき、探究テーマを客観的に見つめ直すきっかけになりました。ありがとうございました。



1、2年
希望者

未来を読むプログラム(トヨタ)



6月17日（金）に「第1回 未来を読むプログラム」としてトヨタ自動車株式会社の武田 雄一郎氏に講演をしていただきました。

日本を代表するグローバル企業であり、かつ「SDGs に対する企業ブランド調査(2022)」2年連続1位のトヨタ自動車が、日本や世界の未来をどのように捉え、どのような取り組みを始めているのか、現役社員から伺うことで、生徒の視野を広げ、社会課題の解決を目指す志を養いました。予測不能な未来に対して、トヨタ自動車がどのようなビジョンで、どのような事業に取り組み、新しい価値の創出を目指しているのかや、サステナブルな社会づくりを目指して活動することの意義などを地域貢献の実例を交えて講義していただきました。そのあと、講義内容を踏まえて、生徒同士でグループディスカッションを行いました。

感想：とても貴重なお話を聞けて充実した一時でした。私が1番印象に残ったのはトヨタ社の車従事者550万人が一同になって頑張っているという動画です。一人一人の頑張りが網目状につながって私たち消費者に車が届けられるその現状に感動しました。これが働く意義なのだとも再認識しました。



感想：ひたすら未来に前向きな武田さんのお話は、自分ももっと自分の好きな気持ちを信じて良いのだ、と力をもらえた。それだけでなく、同級生(もしくは下級生)から飛び交う質問内容の濃さ、マニアックさに驚き、日頃から非常に関心を持って深く考えているのだな、自分も負けていけないなど、ますます学習意欲が湧く一時間になった。

3年SG
コース

課題研究成果発表会

約1年半にわたる探究活動の集大成

7月13日(水)に3年SGコースの集大成となる課題研究成果発表会が3年ぶりの対面形式で行われました。発表会には、金沢大学留学生、石川県国際交流協会国際交流員、国連大学交流員、県内の高校教員の方々にも参観いただき、英語でプレゼンテーションおよび質疑応答を行いました。彼ら彼女らは、高校入学がコロナウィルス蔓延による休校ではじまった学年でしたが、逆境をはねのけ、SGコース発足以来最大の成果をあげたといえるかもしれません。この取り組みがさらに発展していくことを期待します。



<英語発表テーマ>

Group A: Sustainable Clean Energy For the Future

Group B: IZUMIGAOKA RAINBOW PRIDE !! ~Gender Equality in High School~

Group C: No Waste No Cost with OO Cafeteria

Group D: No Agriculture No World

Group E: School Lunch for Zero Hunger

Group F: How to Get Students Interested in More Subjects ~To Make Learning Exciting~

Group G: Be fair, Buy Fair Trade ~For the Planet, For the People~

Group H: What Can We Do with Bamboos? ~Pass the Baton to the Future for the Precious Earth~

【感想】

たくさん嬉しいこと、楽しいことがあったが、特に今日のこの発表会で、留学生に自分たちの探究活動を認めてもらったことがとても嬉しかった。他に大きな活動をしている班が多くあって、正直自分たちの活動に自信を持っていない部分もあったが、発表を聞いたあとにも声をかけてくださり、楽しい時間を過ごすことができた。また、今日のゲストの方々や京都大の思修館の方々を始め、多くの方々と出会えて本当に幸せだった。

【これまでの探究活動を振り返って】

僕たちをもっともっとできると思う。探究などを通して知った後輩のみなさんたちは本当に凄い。才能に満ち溢れていて、挑戦的で、いつも全力投球で圧倒されるほどだ。みなさんが、そして更にもっと後の世代が、どんどん野心的でおもしろいことをやってくれば泉丘はもっともっと素晴らしい学校になると思う。